

よろしく新校舎 ありがとう旧校舎



◎新校舎開校式

9月1日、知名小学校において新校舎建設に伴う開校式が行われました。テープカットの後、来賓のあいさつで宗岡副町長が「この大きな校舎に負けないようしっかりと勉強して、すばらしい伝統を築き上げてください。」と述べました。つづいて児童を代表して6年生の森大樹さんが「慣れ親しんだ旧校舎を離れるのは寂しいですが、新校舎で新しい歴史を作り上げたいと思います。」と力強くあいさつをしました。

ありがとう、そしてさようなら旧校舎

8月19日金、児童の皆さんは旧校舎への最後の出校となりました。校舎内は引越しの準備で荷物が廊下などに置かれていましたが、児童の皆さんは朝の会で大きな声で校歌を斉唱したり、クラスメイトと楽しそうに会話をしていたりするなど普段通りの生活を過ごしているようでした。

児童会長の宗前清香さんと市原清志校長は、旧校舎への思いを次のとおり話されました。



宗前清香さん（6年生）
「1年生から6年生までこの校舎で学校生活を送れてよかったです。新しい校舎でもみんなと楽しく過ごしたいです。」



市原清志 校長

この（旧）校舎へは、「長い間、子どもたちや職員を守りそして育てていただいていたありがとう。」
新校舎へは、「これからも末永く子どもたちをよろしくお願います。」という気持ちでいっぱいです。



◎旧校舎お別れの夕べ

9月3日(土)には、体育館において「旧校舎お別れの夕べ」が開催されました。会場には、卒業生に加え、退職された先生方、現職員、来賓の方々など260名あまりが集まり、思い出多い学校に懐かしい顔や声に戻ってきました。旧校舎は、昭和36年に建てられました。50年がたち老朽化により建て替えられることになり、50年の歴史に幕を閉じました。なお、体育館については、来年1月に取り壊しが始まり、同年7月ごろ完成を迎える予定です。

